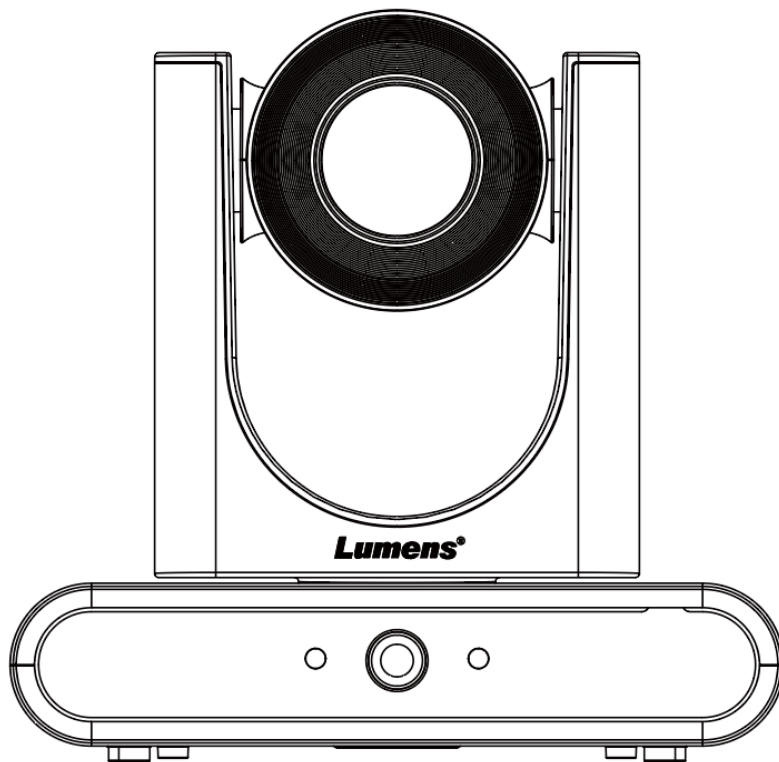


VC-TR60A

オートトラッキングカメラ

(PTZ Video Camera)

ユーザーマニュアル-日本語



クイックスタートガイド、多言語ユーザーマニュアル、ソフトウェア、ドライバーなどの最新版をダウンロードするには、Lumens ウェブサイトをご覧ください。 <https://www.MyLumens.com/support>

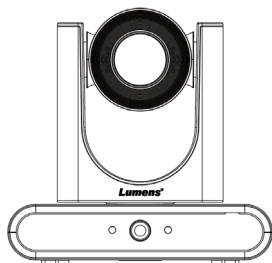
目次

Chapter 1 同梱品	2
Chapter 2 製品外観	3
2.1 入出力インターフェース	3
2.2 LED インジケーター	3
Chapter 3 設置について	4
3.1 設置場所	4
3.2 設置前の準備	4
3.3 設置方法	4
3.4 カメラ寸法	6
3.5 外部機器との接続	7
3.6 RS-232	7
Chapter 4 リモコンと OSD メニュー	8
4.1 リモコン	8
4.2 OSD メニュー	10
Chapter 5 ネットワーク接続	15
5.1 ネットワーク接続方法	15
5.1.1 RTSP プレーヤーを使用した映像の確認	15
5.2 Web GUI メニュー	16
5.2.1 ログイン画面	16
5.2.2 ライブビュー画面	17
5.2.3 カメラ設定画面	18
5.2.4 トラッキング画面	20
5.2.5 トラッキングモード設定画面	22
5.2.6 オーディオ画面	25
5.2.7 ストリーム画面	26
5.2.8 システム画面	28
5.2.9 メンテナンス画面	32
5.2.10 About 画面	33
Chapter 6 トラブルシューティング	34
Chapter 7 安全上のご注意	35

Chapter 1 同梱品

本製品は以下の製品が同梱されています。

VC-TR60A カメラ



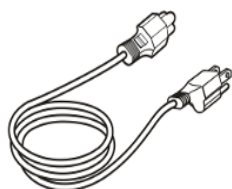
リモコン



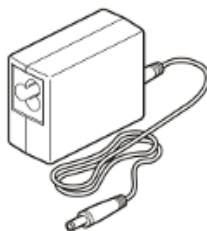
USB 3.0 ケーブル -
2m (Type A to Type B)



電源ケーブル



電源アダプター



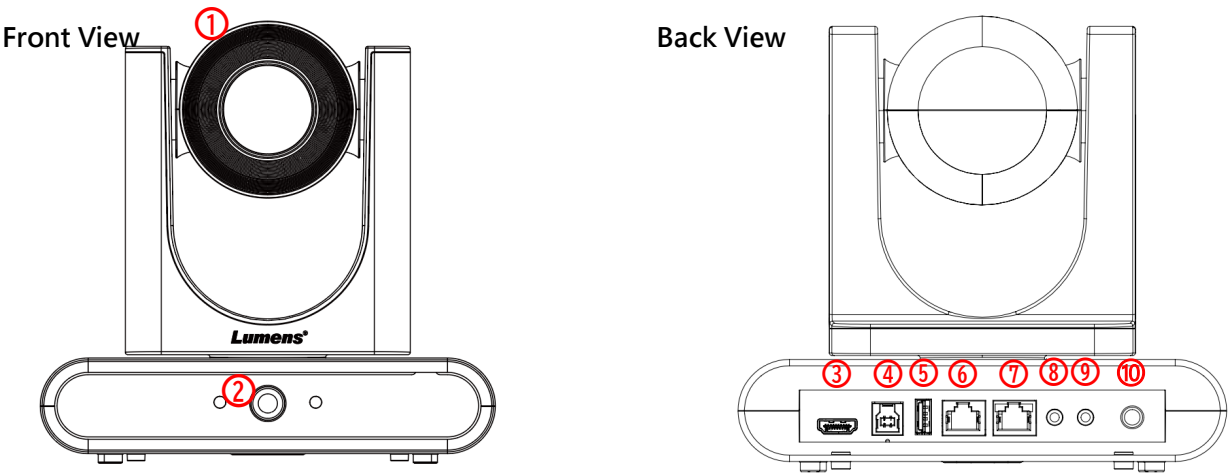
3-PIN to 2-PIN
コネクター



Chapter 2 製品外観

2.1 入出力インターフェース

本章では、本製品の入出力インターフェースについて説明します。



NO.	項目	機能概要
1.	Main camera lens	メインカメラレンズ
2.	Panoramic lens	パノラマカメラレンズ
3.	HDMI Output	HDMI 出力
4.	USB3.0 Port	PC の USB ポートに接続し、映像信号を出力します
5.	Ref USB Port	USB マイクの音声を入力します 入力された音声は、HDMI Output または USB3.0 Port 経由で出力できます
6.	RS-232/RS-422 Input	RS-232 入力ポート
7.	Ethernet Port	ネットワークポート（PoE+対応、IEEE802.3at）
8.	Ref Audio Input	エコーによるボイストラッキングの誤動作を防ぐのに使用します
9.	Line Input	3.5mm オーディオライン入力ポート
10.	DC 12V Input	DC 12V 電源ポート（電源アダプター付属）

2.2 LED インジケータ

本章では、フロントに設置されている LED インジケータの動作について説明します。

現在のステータスに応じた各 LED の挙動を以下に示します。

Status	Power LED	Standby LED
起動処理中	緑	オレンジ
動作中	緑	消灯
スタンバイモード	消灯	オレンジ
プライバシーモード	オレンジ	消灯
Tracking/フレーミングモード	緑点滅	緑点滅

Chapter 3 設置について

3.1 設置場所

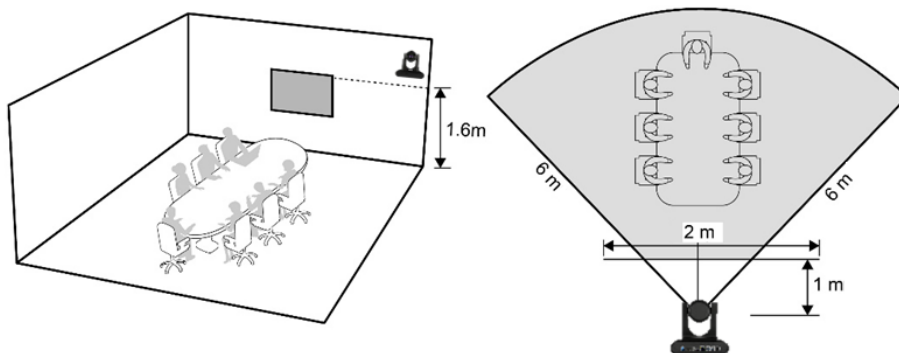
VC-TR60 の設置場所については、以下を参照してください。

3.1.1 オートトラッキング、オートフレーミング使用時の設置位置

- ✓ 有効距離：6～12 m
- ✓ 設置上の注意：
 - ・ポスター、スクリーン、モニター、テレビなど、人物の映像が映る背景は避けてください。

3.1.2 ボイストラッキング使用時の設置位置

- ✓ 有効距離：2～8m
- ✓ 設置上の注意：
 - ・トラッキング精度を向上させるため、人物同士が重ならないように配置してください。
 - ・カメラの正面には、障害物のない空間（奥行き 1m 以上、幅 2m 以上）を確保してください。
 - ・音の反射による誤動作を防ぐため、テーブルと壁の間には十分な距離を設けてください。
 - ・より精度の高いトラッキングを実現するため、部屋に吸音材を設置することを推奨します。



3.2 設置前の準備

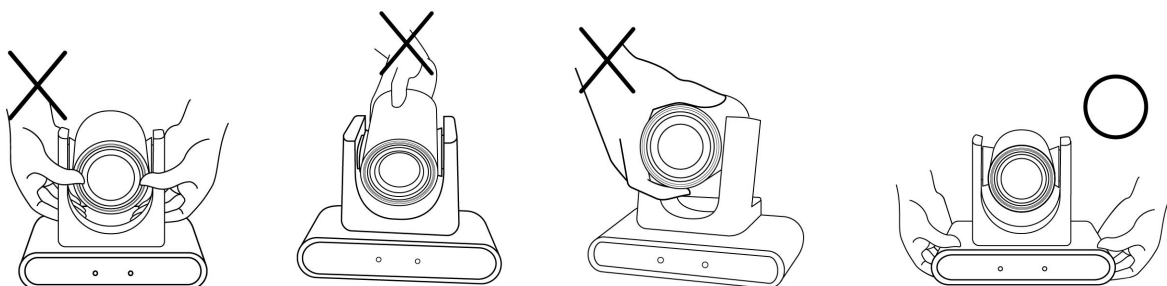
カメラの設置と接続には専門的な技術が必要です。ご自身で設置する場合は、手順に従い、安定した状態で確実に設置し、事故が発生しないよう安全に配慮してください。

- ✓ 設置環境の安全を確保してください。
事故を防ぐため、不安定な場所や落下の危険がある場所には設置しないでください。
- ✓ 箱の中の付属品を確認してください。
付属品がすべて揃っているか確認し、不足がある場合は販売店に連絡してください。付属品は紛失しないよう、大切に保管してください。
- ✓ カメラの設置場所を事前に決めてください。
撮影対象の位置を確認し、視野角に収まるよう設置場所を決めてください。またカメラが光源から適切な距離に設置されているか確認してください。

3.3 設置方法

テーブルやカメラスタンドなどにカメラを平置きで設置する場合は、以下の注意事項を守って設置してください。

- ✓ 平らな場所に設置してください。
- ✓ 持ち運ぶ際は、カメラヘッド持たず台座の下部を支えてください。
- ✓ カメラヘッドを手で回転させないでください。

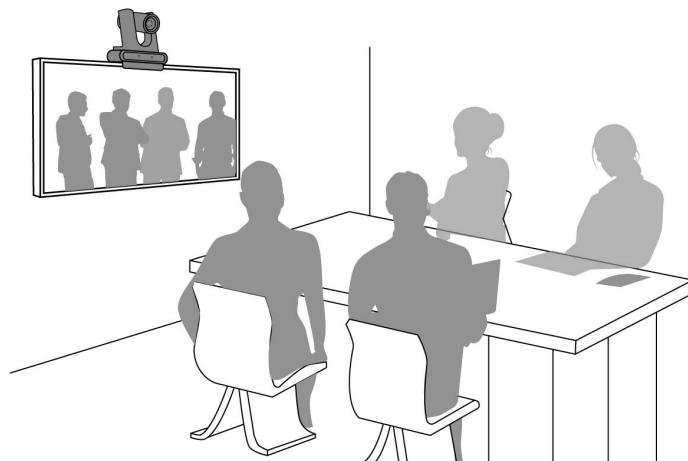


天井・壁・モニターに設置するために、以下のオプションアクセサリーをご用意しています。

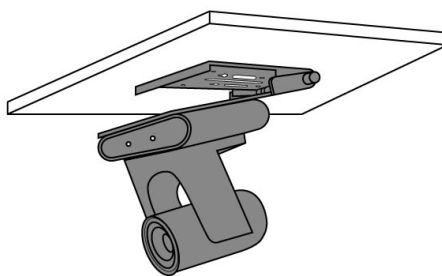
- ✓ VC-WM14 3 in 1 Folding Bracket
- ✓ VC-WM15 Ceiling Mounted Bracket

詳しい使用方法は、各ブラケットの設置ガイドをご参照ください。

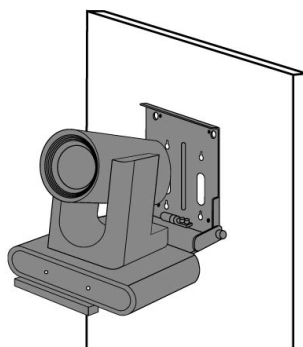
✓ ディスプレイへの設置



✓ 天井への設置



✓ 壁面への設置

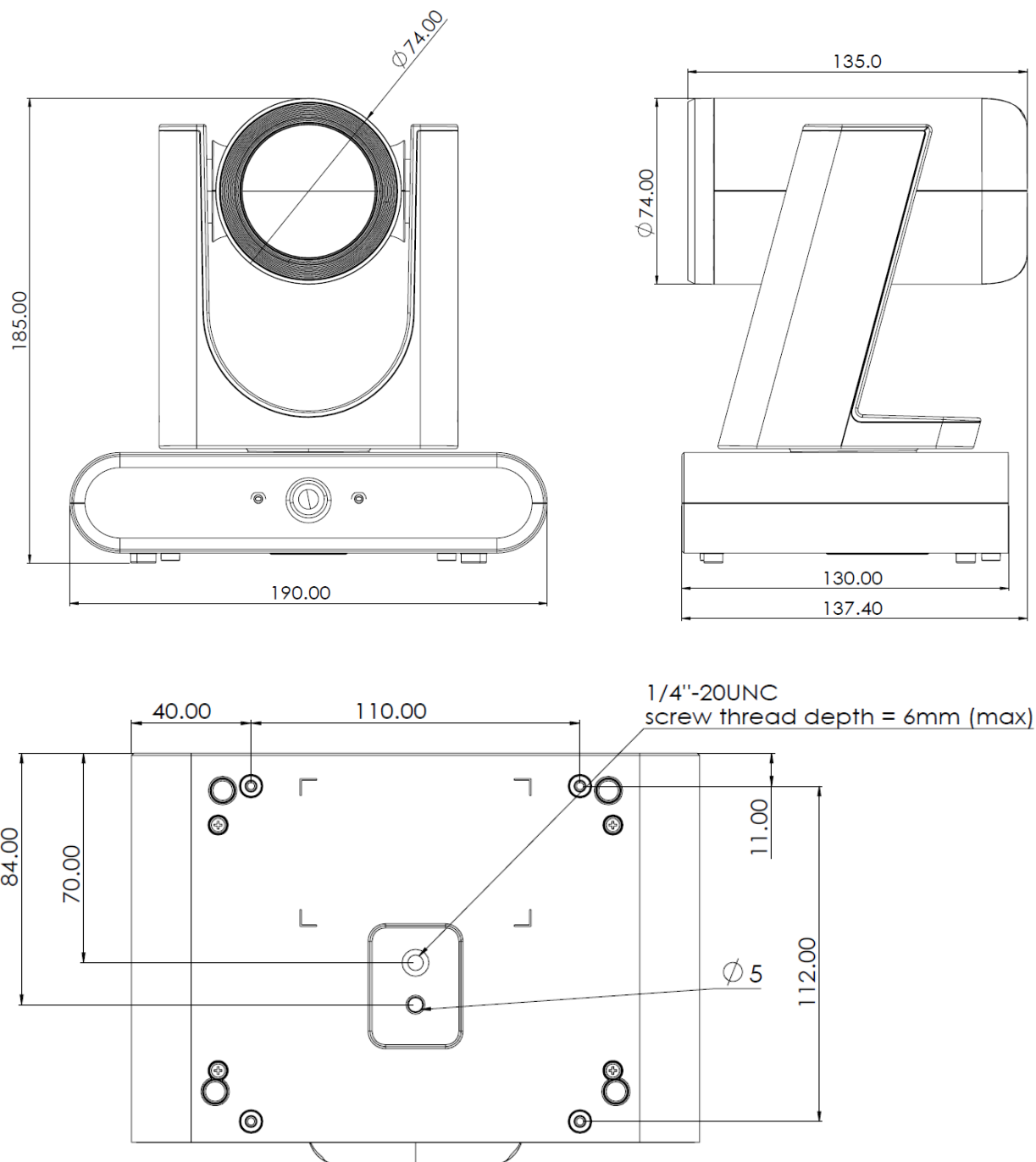


3.4 カメラ寸法

カメラの寸法や重量は以下の通りです。

底面には 1/4 インチのネジ穴があるため、三脚などへの設置が可能です。

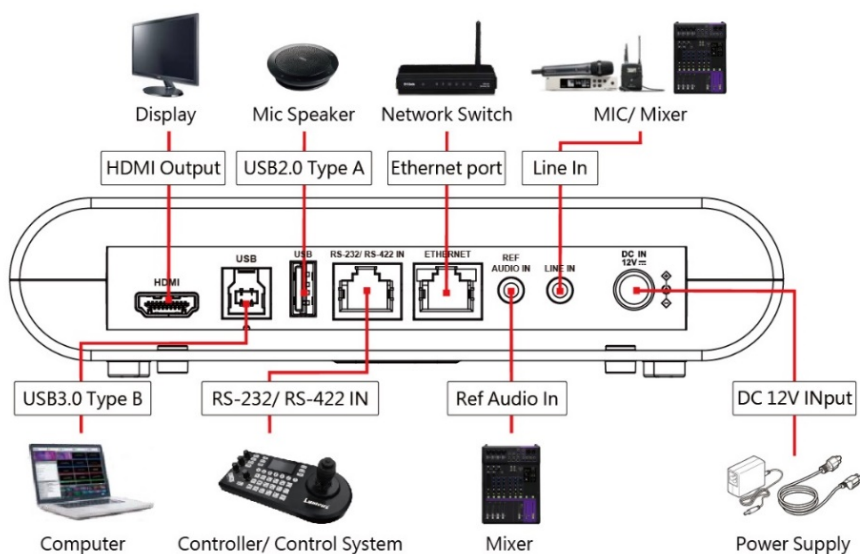
- ✓ L x W x H: 190 x 137.4 x 185 mm
- ✓ 重量: 1.5 Kg



3.5 外部機器との接続

VC-TR60 の入出力インターフェースへの接続方法について解説します。

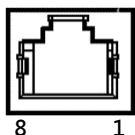
Network Port は PoE+ (IEEE802.3at)に対応しているため、付属電源アダプターでの電源供給はオプションです。



3.6 RS-232/RS-422

RS-232/RS-422 ポートを使用して、PC やカメラコントローラーでカメラの制御が可能です。コネクタは RK45 を採用し、制御プロトコルは VISCA に対応しています。

詳しくは Lumens Web サイトのダウンロードページより、[VC-TR60 RS-232 コマンドセット](#)を参照してください。



RJ45	IN	Series	RJ45	IN	Series
1	RX_IN-	RS422	5	RX	RS232
2	RX_IN+	RS422	6	DTR	Detection
3	GND	GND	7	TX_IN-	RS422
4	TX	RS232	8	TX_IN+	RS422

Chapter 4 リモコンと OSD メニュー

4.1 リモコン

製品付属リモコンの各ボタンについて機能を解説します。

No.	項目	説明
1.	Power	スタンバイモードに移行します スタンバイモード中に再度ボタンを押すと、通常動作に戻ります
2.	Preset	プリセットの保存、消去、および呼び出しを行います ✓ 数字ボタン: 対応するプリセット呼び出しします ✓ Preset ボタン: 現在の視野角をプリセットとして保存します 保存するには、Preset ボタンを押しながら、任意の数字ボタンを押します ✓ Reset: プリセットを消去します 消去するには、Preset ボタンを押しながら、任意の数字ボタンを押します
3.	Menu	OSD メニューを表示します 詳細は 4.2 OSD メニュー を参照してください
4.	Pan/ Tilt/ Enter	レンズを任意の方向へ移動させます ✓ Pan/Tilt ボタン: レンズを上下左右に動かします 一部メニュー画面では、方向ボタンとしても機能します ✓ Enter ボタン: ホームポジションへ移動します 一部メニュー画面では、決定ボタンとしても機能します
5.	Info	ステータス情報を表示します
6.	Zoom	ズームイン、ズームアウトを行います ✓ Fast: 素早くズームします ✓ Slow: ゆっくりズームします
7.	Focus	オートフォーカスとマニュアルフォーカスを切り替えます ✓ Auto: オートフォーカス ✓ Manual: マニュアルフォーカス ✓ Far/Near: マニュアルフォーカス時、フォーカスを調整します

	8.	Auto Tracking	オートトラッキングのオン/オフの切り替えや、トラッキング方法を変更します オンにすると、カメラが特定の人物を自動で追跡し、移動に合わせてパン・チルト・ズームを調整します オートトラッキングとオートフレーミングはどちらか一方のみ有効にできます ✓ On/Off: オートトラッキングのオン/オフを切り替えます ✓ Full: 人物の全身が映るようにトラッキングします ✓ Upper: 人物の上半身のみが映るようにトラッキングします ✓ Switch: トラッキングする対象を変更します
	9.	L/R Direction Set	Pan ボタンでレンズを左右に移動する際、方向を反転させます
	10.	Mirror	画像を回転します ボタンを押すたびに「左右反転」「上下反転」「左右上下反転」に切り替わります
	11.	Camera select	リモコンの ID を 1~3 から選択します リモコンの ID とカメラの IRID が一致している場合に操作できます カメラの IRID は OSD メニューより変更できます 詳細は 4.2 OSD メニュー を参照してください
	12.	Back Light	逆光補正のオン/オフを切り替えます
	13.	Pan/Tilt Reset	Pan/Tilt を初期位置に戻します
	14.	Auto Framing	オートフレーミングのオン/オフを切り替えます オンにすると、画面内の人数を検出し、全員が適切に収まるようにカメラがズームを自動調整します オートトラッキングとオートフレーミングはどちらか一方のみ有効にできます ✓ On/Off: オートフレーミングのオン/オフを切り替えます ✓ Trigger: カメラのフレーミングを調整し、被写体をフレーム内に再配置します

4.2 OSD メニュー

リモコンの[MENU]ボタンを押して OSD メニューにアクセスします。

OSD メニューでは、より詳細な設定を行うことができます。

メインメニュー	サブメニュー	選択範囲	機能概要
Exposure	Mode	Full Auto/ Shutter Pri/ Iris Pri/ Manual/ White Board	露出モードを切り替えます ✓ Full Auto: カメラが全自動で露出を調整します ✓ Shutter Pri (シャッター優先): シャッター速度を優先的に設定し、その他の設定(絞りやゲインなど)はカメラが自動で調整します ✓ Iris Pri (絞り優先): 絞り (アパーチャ) を優先的に設定し、他の設定を自動で調整します ✓ Manual: すべての設定 (シャッター速度、絞り、ゲインなど) を手動で調整します ✓ White Board: ホワイトボードでの撮影に最適な設定を自動的に調整します
	Exposure Comp.	On/Off	露出補正のオン/オフを切り替えます
	Exposure Comp. Level	-7 ~ 7	露出補正レベルを調整します これにより、画像が明るすぎたり暗すぎたりするのを調整できます
	Spot Light	On/Off	スポットライト機能のオン/オフを切り替えます オンにすると、指定したエリアに重点を置いた露出調整が行われます
	Spot Light Position	X(0 ~ 5)/Y(0 ~ 3)	スポットライトの位置を調整できます X 軸 (0~6) と Y 軸 (0~4) の範囲で、スポットライトが強調するエリアを指定します
	Anti-Flicker	50Hz/60Hz/Off	フリッカー防止機能を切り替えます 蛍光灯などによる画面のちらつきを防ぐため、50Hz または 60Hz に設定できます
	Shutter Speed	1/10000 ~ 1/30	シャッター速度を調整し、画像の明るさや動きのブレを制御します
	Iris Level	F1.6 ~ F14/ Close	レンズの絞りを調整します これにより、画像の被写界深度や光量が変化します
	Gain Limit	8 ~ 30dB	ゲインの最大値を制限します ゲインはカメラが光量の不足を補うために増幅する信号の強さです
	Gain Level	0 ~ 30dB	ゲインレベルを調整します
	WDR	Off/ 1/ 2/ 3/ 4/ 5	WDR(ワイドダイナミックレンジ)を設定します 明るい部分と暗い部分のディテールを両方とも鮮明に表示できるよう調整します

メインメニュー	サブメニュー	選択範囲	機能概要
White Balance	Mode	Auto(4000K ~ 7000K) Indoor(3200K) Outdoor(5800K) One Push WB(1700K ~ 10000K) ATW(1700K ~ 10000K) Manual(Custom) Sodium Lamp(2800K)	ホワイトバランスを設定します ✓ Auto: カメラが自動で周囲の光源に合わせて最適なホワイトバランスを設定します ✓ Indoor: 室内の光源に最適化されたホワイトバランスを設定します ✓ Outdoor: 屋外の自然光に最適化されたホワイトバランスを設定します ✓ One Push WB: 白色の基準となる対象物（例：白い紙など）をカメラの前に置き、One Push Trigger を押すと、カメラがその基準に基づいて最適なホワイトバランスを設定します ✓ ATW (Auto Tracking White Balance): カメラが自動的に色温度を追跡し、環境の変化に応じてリアルタイムでホワイトバランスを調整します ✓ Manual: 色温度（赤と青の調整）を手動で設定するモードです ✓ Sodium Lamp (ナトリウムランプ): ナトリウムランプ（街灯など）での撮影に最適化されたホワイトバランスです
Tracking	Type	Auto Framing Partition Framing Voice Tracking Everywhere Tracking Stage Tracking Partition Tracking Center Stage	トラッキングモードを選択します ✓ Auto Framing: すべての人物を画角に収めるよう自動調整します ✓ Partition Framing: プレゼンターがパーティションエリアに入るとプリセット位置に移動し、エリア外に出るとオートフレーミングを行います ✓ Voice Tracking: 発話者の音声を認識して追尾します ✓ Everywhere Tracking: 特定の人物の左右・前後の動きを連続的に追従します ✓ Stage Tracking: 定義したエリア内で特定の人物を左右に追従します ✓ Partition Tracking: 特定の人物がパーティションエリアに入るとプリセット位置に切り替わり、エリア外に出ると自動追従します ✓ Center Stage: プリセットを呼び出した後、特定の人物をフレームの中央に配置するよう自動調整します
Picture	2D NR	Off/ 1/ 2/ 3	2D ノイズリダクションを設定します 2D ノイズリダクションでは、フレームごとのノイズを除去します
	3D NR	Off/ Low/ Typ/ Max	3D ノイズリダクションを設定します 3D ノイズリダクションでは、連続するフレームを比較し、変化の少ない部分を基準にしてノイズを除去します
	Image Mode	Default/ Custom	画質設定を選択します ✓ Default: デフォルト設定で画像を出力します ✓ Custom: Brightness/ Hue/ Saturation/ Gamma/ Sharpness の調整が可能になります

メインメニュー	サブメニュー	選択範囲	機能概要
	Brightness	0 ~ 14	画面の明るさを調整します
	Hue	0 ~ 14	色合い（赤・青のバランス）を調整します
	Saturation	0 ~ 14	彩度を調整します
	Gamma	0 ~ 4	シャドウやハイライトのバランスを調整します
	Sharpness	0 ~ 11	シャープネスを調整します
Pan Tilt Zoom	Pan/Tilt Limit	On/Off	パン・チルトの可動範囲制限のオン/オフを切り替えます
	Pan Right Limit	0 ~ 170	右方向の最大角度を指定します
	Pan Left Limit	-170 ~ 0	左方向の最大角度を指定します
	Tilt UP Limit	0 ~ 90	上方向の最大角度を指定します
	Tilt Down Limit	-30 ~ 0	下方向の最大角度を指定します
	Pan Flip	On/Off	オンにすると、パン操作（左右移動）の方向が反転します
	Tilt Flip	On/Off	オンにすると、チルト操作（上下移動）の方向が反転します
	Preset Speed	5/ 25/ 50/ 80/ 120 deg/sec	プリセット位置へ移動するときの回転速度（°/秒）を設定します
	PTZ Speed Comp	On/Off	オンにすると、ズーム倍率に応じてパン・チルトの移動速度が変化します ズームイン時はパン・チルトの動きが遅くなり、ズームアウト時はパン・チルトの動きが速くなります
	D-Zoom Limit	x1 ~ x16	デジタルズームの最大倍率を制限します
D-Effect	Mirror	Off/ Mirror/ Flip/ Mirror+Flip	画像の反転設定を行います ✓ Off: 画像を反転しません ✓ Mirror (左右反転): 画像を左右反転します ✓ Flip (上下反転): 画像を上下反転します ✓ Mirror+Flip (左右+上下反転): 画像を180度回転させます
Auto Focus	AF Sensitivity	Low/ Middle/ High	オートフォーカスの反応速度を設定します
	AF Frame	Center/ Full Frame/ Auto	ピントの合う位置を設定します ✓ Center: 画面中央にピントが合うようにフォーカスを調整します ✓ Full Frame: 画面全体でピントが合うようにフォーカスを調整します ✓ Auto: カメラが自動で最適なフォーカス調整を行います
Ethernet	DHCP	On/Off	DHCP（動的 IP アドレス設定）のオン/オフを切り替えます
	IP Address	任意の IP アドレスを指定	DHCP がオフに設定されている場合に設定可能です
	Subnet mask	任意のサブネットマスクを指定	
	Gateway	任意のデフォルトゲートウェイを指定	

メインメニュー	サブメニュー	選択範囲	機能概要
Audio	Audio Enable	On/Off	音声出力のオン/オフを切り替えます
	Audio In	Line In	Line In
	Audio Volume	0 ~ 10	音量を調整します
	Audio Delay	On/Off	音声ディレイのオン/オフを切り替えます
	Audio Delay Time(ms)	-10 ~ 500ms	ディレイ時間を設定します 映像と音声にずれが発生した場合に補正可能です
	Encode Sample Rate	48 KHz(AAC)	音声のエンコード方式とサンプリングレートを表示します 現在変更はできません
System	Prompt	On/Off	ディスプレイ上のプロンプト情報のオン/オフを切り替えます プロンプト情報は、プリセット呼び出し情報などが含まれます
	IR Receive	On/Off	リモコン操作のオン/オフを切り替えます カメラを再起動すると、オンになります
	IR Select	1/ 2/ 3	カメラの IR チャンネル設定を変更します リモコン操作を行うには、カメラとリモコンの IR チャンネルを一致させる必要があります
	Tally Lamp	On/Off	メインレンズ上部のタリーランプのオン/オフを切り替えます
	Tally CMMD Mode	Normal/Link	タリーランプがオフの時のコマンド処理方法を指定します ✓ Normal: タリーランプのオン/オフと点灯色は個別に制御します タリーランプが消灯中に色指定コマンドを送信しても点灯しないため、先にタリーランプをオンにするコマンドを送信する必要があります ✓ Link: タリーランプのオン/オフと点灯色は連動して制御します タリーランプが消灯中に色指定コマンドを送信すると、自動的にタリーランプがオンになり、指定された色で点灯します
	PIP	On/Off	PIP(ピクチャーインピクチャー)機能のオン/オフを切り替えます ※ PIP 機能が有効なときは、モーションレススイッチ機能は使用できません
	Mode Select	Auto Switch/ PTZ / Panoramic	メインスクリーンに表示するレンズを指定します ✓ Auto Switch: Voice Tracking 機能が有効な場合のみ選択できます 通常時はメインレンズの映像を、人物の動きを検出している間はパノラマレンズの映像をメインスクリーンに表示します ✓ PTZ: メインレンズの映像をメインスクリーンに表示します ✓ Panoramic: パノラマレンズの映像をメインスクリーンに表示します
	Size	Small/ Normal/ Large	サブスクリーンのサイズを指定します
	Position	Bottom-R/ Bottom-L/ Upper-R/ Upper-L	サブスクリーンの表示位置を指定します

メインメニュー	サブメニュー	選択範囲	機能概要
	Tracking Led Status	On/Off	有効にすると、カメラトラッキング中、全面の Power LED と Standby LED が緑色にゆっくりと点滅します
	Language	English/ Chinese	表示言語を英語/中国語から選択します
	Initial Position	Last MEM/ 1st Preset	電源投入時のレンズ位置を設定します ✓ Last MEM: 前回電源オフ時のレンズ位置を保持します ✓ 1st Preset: 電源オン時にプリセット 0 (1st Preset) の位置に戻ります
	Motionless Switch	On/Off	モーションレススイッチのオン/オフを切り替えます PTZ 動作中カメラは一時的にパノラマビューに切り替わり、完了後にメインビューに戻ります ※この機能は、Voice Tracking モードでのみ利用可能です
	Motionless Preset	On/Off	モーションレスプリセットのオン/オフを切り替えます モーションレスプリセットは、プリセット位置へ移動中に画面をフリーズさせます
	Privacy Mode	On/Off	プライバシーモードのオン/オフを切り替えます プライバシーモードは、カメラをオフにすると、自動でレンズを下向きにします
	Protocol	VISCA	制御プロトコルを選択します 現在、VISCA プロトコルのみサポートします
	Baud Rate	9600/38400	ボーレートを選択します
	VISCA Address	1 ~ 7	カメラ ID アドレスを設定します 複数台のカメラを VISCA 制御する場合、それぞれ異なる ID を割り当てる必要があります
	USB 4K Mode	On/Off	USB 経由で 4K(2160p 25/30)出力対応のオン/オフを切り替えます USB 4K Mode を選択した場合、ストリーム 1 は 1080p に制限されます 解像度を変更後、カメラは再起動します
	Output Mode	2160P 60/50/30/25 1080p 60/50/30/25 720p 60/50/	出力解像度を選択します
	Factory Reset	Confirm Yes/No	工場出荷時の設定に戻します
Status	-	-	現在の設定状態を表示します

Chapter 5 ネットワーク接続

5.1 ネットワーク接続方法

LAN ケーブルでカメラを接続し、Web ブラウザ経由での設定や映像の確認、RTSP 対応プレーヤーでの視聴が可能です。Web ブラウザ経由での設定や映像の確認方法は、[5.2 Web GUI メニュー](#)を参照してください。

5.1.1 RTSP プレーヤーを使用した映像の確認

ネットワーク経由で映像を視聴するには、VLC メディアプレーヤーなどの RTSP 対応プレーヤーを使用できます。

✓ RTSP ストリームの接続 URL 例:

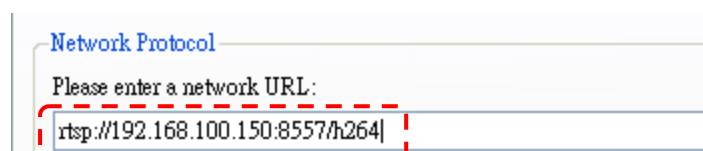
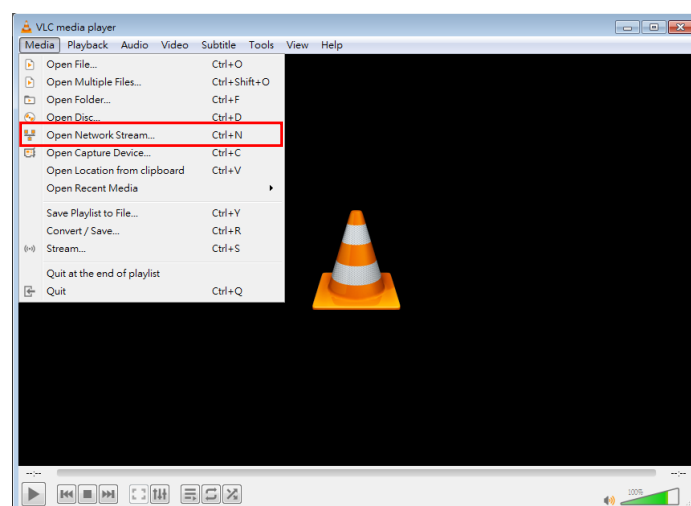
- メインストリーム: `rtsp://192.168.100.100:8557/h264`
- サブストリーム: `rtsp://192.168.100.100:8556/h264`
- パノラマ映像: `rtsp://192.168.100.100:8553/h264`

✓ 認証が有効な場合の RTSP 接続 URL 例:

`rtsp://<ユーザー名>:<パスワード>@192.168.100.100:8557/h264`

✓ VLC メディアプレーヤーでの視聴方法例:

1. VLC メディアプレーヤーを開きます
2. [メディア] > [ネットワークストリームを開く]を選択します。
3. URL を入力します (例: `rtsp://192.168.100.100:8557/h264`)
4. [再生] をクリックし、映像を視聴します。



5.2 Web GUI メニュー

本章では Web ブラウザ経由で設定や映像の確認方法を解説します。

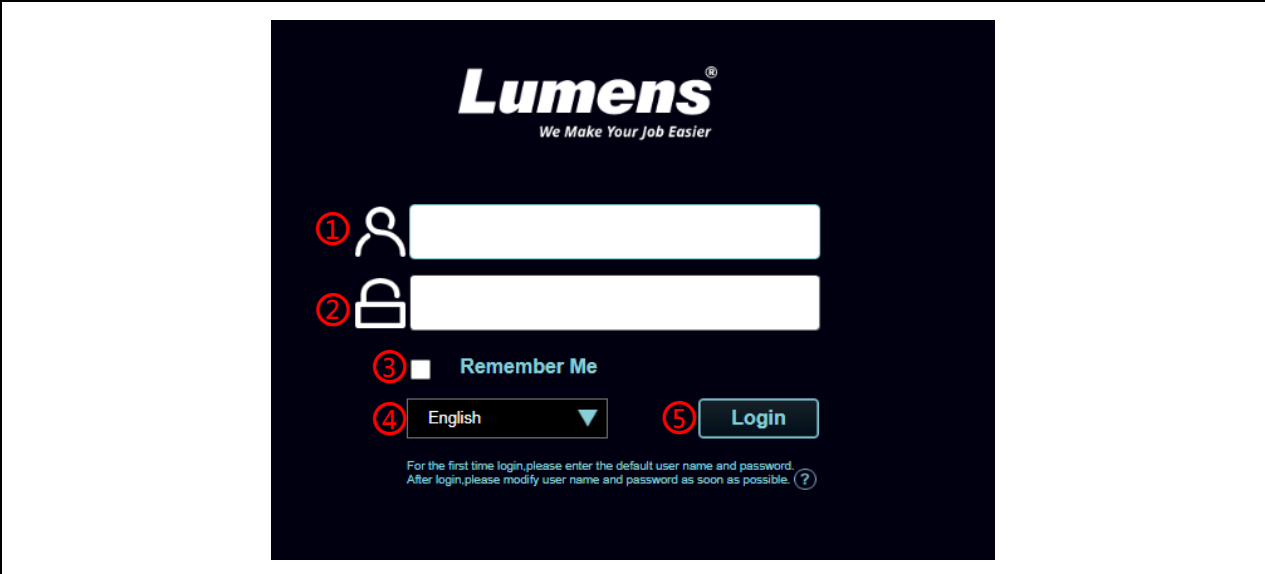
- ✓ Web ブラウザを開き、アドレスバーにカメラの IP アドレスを入力します。

初期 IP アドレス: <http://192.168.100.100>

- ✓ 管理者アカウントでログインします。

ユーザー名: admin
パスワード: 9999 (初期設定)

5.2.1 ログイン画面



No	項目	機能概要
1	User Login Account	ログインアカウントを入力します(default: admin)
2	User Password	パスワードを入力します(default: 9999)
3	Remember Me	ログインアカウントとパスワードをブラウザに保存します
4	Language	表示を英語/繁体字中国語/簡体字中国語から選択できます
5	Login	ホームページの管理画面にログインします

5.2.2 ライブビュー画面

サイドメニューから Live View を選択すると、Live View 画面へ移行します。

この画面では、プレビュー画面を確認しながらレンズ位置を調整し、プリセットの保存などを行うことができます。



No	項目	機能概要
1	Camera ID/location	カメラ ID およびロケーション名を表示します
2	Preview window	カメラのプレビューを表示します
3	Preset setting	プリセットの保存および呼び出しを行います ✓ 数字ボタン: 保存または呼び出すプリセット番号(0~999)を指定します ✓ Store ボタン: 現在のレンズ位置を、指定したプリセット番号に保存します ✓ 呼び出し (丸矢印) ボタン: 指定したプリセット番号を呼び出します
4	Pan/Tilt setting	レンズを任意の方向へ移動させます ✓ 方向ボタン: レンズを上下左右に動かします ✓ ホームボタン: ホームポジションへ移動します
5	Zoom	ズームイン、ズームアウトを行います
6	AF/MF	オートフォーカスとマニュアルフォーカスを切り替えます マニュアルフォーカス時は Focus+/- ボタンが有効になり、手動でフォーカスを調整できます。
7	Pan/Tilt Speed	パン/チルトの移動速度を調整します
8	Zoom speed	ズーム速度を調整します
9	Tracking	トラッキングのオン/オフを切り替えます アイコンは上から Voice Tracking/ Auto Tracking/ Auto Framing を示し、現在選択している Tracking Mode によって、オン/オフにできる項目が変わります Tracking Mode は、 5.2.4 Tracking 画面 で変更ができます
11	Camera Setting	ギアアイコンをクリックすると、カメラ設定画面に移行します 詳細は 5.2.3 カメラ設定画面 で解説します

5.2.3 カメラ設定画面

Live View 画面のギアアイコンをクリックすると、カメラ設定画面に移行します。

この画面では、カメラ画質に関する設定を行うことができます。

各メニューの右下に配置されているホームボタンをクリックすると、もとのLive View画面へ戻ることができます。

メインメニュー	サブメニュー	選択範囲	機能概要
Exposure	Mode	Full Auto/ Shutter Pri/ Iris Pri/ Manual/ White Board	露出モードを切り替えます ✓ Full Auto: カメラが全自動で露出を調整します ✓ Shutter Pri (シャッター優先): シャッター速度を優先的に設定し、その他の設定（絞りやゲインなど）はカメラが自動で調整します ✓ Iris Pri (絞り優先): 絞り（アパーチャ）を優先的に設定し、他の設定を自動で調整します ✓ Manual: すべての設定（シャッター速度、絞り、ゲインなど）を手動で調整します ✓ White Board: ホワイトボードでの撮影に最適な設定を自動的に調整します
	Gain Limit	8 ~ 30dB	ゲインの最大値を制限します ゲインはカメラが光量の不足を補うために増幅する信号の強さです
	Gain Level	0 ~ 30dB	ゲインレベルを調整します
	Exposure Comp. Level	-7 ~ 7	露出補正レベルを調整します これにより、画像が明るすぎたり暗すぎたりするのを調整できます
	Anti-Flicker	50Hz/60Hz/Off	フリッカー防止機能を切り替えます 蛍光灯などによる画面のちらつきを防ぐため、50Hz または 60Hz に設定できます
	WDR	Off/ 1/ 2/ 3/ 4/ 5	WDR(ワイドダイナミックレンジ)を設定します 明るい部分と暗い部分のディテールを両方とも鮮明に表示できるよう調整します
	Iris Level	F1.6 ~ F14/ Close	レンズの絞りを調整します これにより、画像の被写界深度や光量が変化します
	Shutter Speed	1/10000 ~ 1/30	シャッター速度を調整し、画像の明るさや動きのブレを制御します

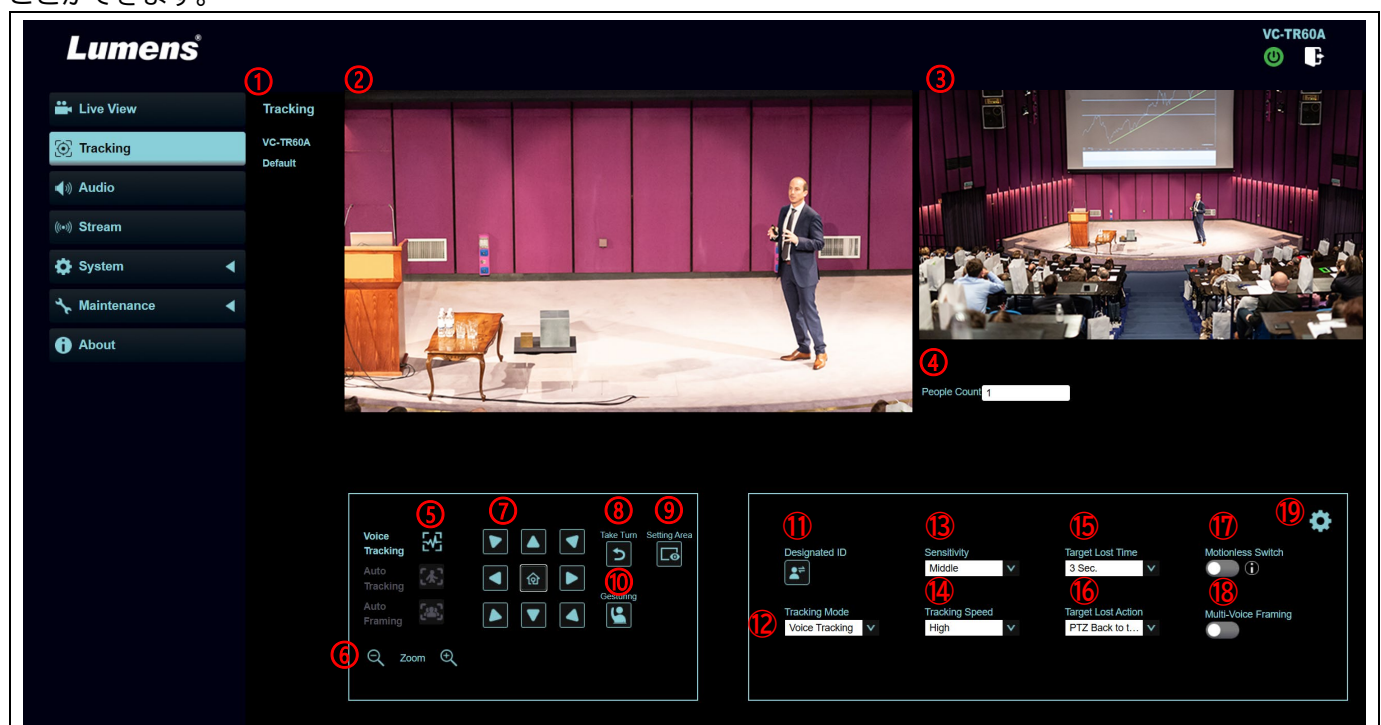
メインメニュー	サブメニュー	選択範囲	機能概要
White Balance	Mode	Auto(4000K ~ 7000K) Indoor(3200K) Outdoor(5800K) One Push WB(1700K ~ 10000K) ATW(1700K ~ 10000K) Manual(Custom) Sodium Lamp(2800K)	ホワイトバランスを設定します ✓ Auto: カメラが自動で周囲の光源に合わせて最適なホワイトバランスを設定します ✓ Indoor: 室内の光源に最適化されたホワイトバランスを設定します ✓ Outdoor: 屋外の自然光に最適化されたホワイトバランスを設定します ✓ One Push WB: 白色の基準となる対象物（例：白い紙など）をカメラの前に置き、One Push ボタンを押すと、カメラがその基準に基づいて最適なホワイトバランスを設定します ✓ ATW (Auto Tracking White Balance): カメラが自動的に色温度を追跡し、環境の変化に応じてリアルタイムでホワイトバランスを調整します ✓ Manual: 色温度（赤と青の調整）を手動で設定するモードです ✓ Sodium Lamp (ナトリウムランプ): ナトリウムランプ（街灯など）での撮影に最適化されたホワイトバランスです
Focus	AF Sensitivity	Low/ Middle/ High	オートフォーカスの反応速度を設定します
	AF Frame	Center/ Full Frame/ Auto	ピントの合う位置を設定します ✓ Center: 画面中央にピントが合うようにフォーカスを調整します ✓ Full Frame: 画面全体でピントが合うようにフォーカスを調整します ✓ Auto: カメラが自動で最適なフォーカス調整を行います
Mirror	Mirror	On/ Off	画像の左右反転設定を行います
	Flip	On/ Off	画像の上下反転設定を行います
PTZ	Pan/Tilt Limit	On/Off	パン・チルトの可動範囲制限のオン/オフを切り替えます
	Pan Right Limit	0 ~ 170	右方向の最大角度を指定します
	Pan Left Limit	-170 ~ 0	左方向の最大角度を指定します
	Tilt UP Limit	0~90	上方向の最大角度を指定します
	Tilt Down Limit	-30~0	下方向の最大角度を指定します
	Preset Speed	5/ 25/ 50/ 80/ 120 deg/sec	プリセット位置へ移動するときの回転速度（° /秒）を設定します
	Initial Position	Last MEM/ 1st Preset	電源投入時のレンズ位置を設定します ✓ Last MEM: 前回電源オフ時のレンズ位置を保持します ✓ 1st Preset: 電源オン時にプリセット 0（1st Preset）の位置に戻ります
	D-Zoom Limit	x1~x16	デジタルズームの最大倍率を制限します

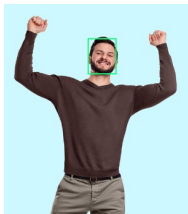
メインメニュー	サブメニュー	選択範囲	機能概要
	PTZ Speed Comp	On/Off	オンにすると、ズーム倍率に応じてパン・チルトの移動速度が変化します ズームイン時はパン・チルトの動きが遅くなり、ズームアウト時はパン・チルトの動きが速くなります
	Motionless Preset	On/Off	モーションレスプリセットのオン/オフを切り替えます モーションレスプリセットは、プリセット位置へ移動中に画面をフリーズさせます
Picture	2D NR	Off/ 1/ 2/ 3/ 4/ 5/ 6/ 7	2D ノイズリダクションを設定します 2D ノイズリダクションでは、フレームごとのノイズを除去します
	3D NR	Off/ 1/ 2/ 3/ 4/ 5/ 6/ 7	3D ノイズリダクションを設定します 3D ノイズリダクションでは、連続するフレームを比較し、変化の少ない部分を基準にしてノイズを除去します
	Image Mode	Default/ Custom	画質設定を選択します ✓ Default: デフォルト設定で画像を出力します ✓ Custom: Brightness/ Hue/ Saturation/ Gamma/ Sharpness の調整が可能になります
	Brightness	0 ~ 14	画面の明るさを調整します
	Hue	0 ~ 14	色合い（赤・青のバランス）を調整します
	Saturation	0 ~ 14	彩度を調整します
	Gamma	0 ~ 4	シャドウやハイライトのバランスを調整します
	Sharpness	0 ~ 14	シャープネスを調整します

5.2.4 トラッキング画面

サイドメニューから Tracking を選択すると、トラッキング画面へ移行します。

この画面では、メインカメラとパノラマカメラのプレビュー画面を確認でき、AI オートトラッキングの設定を行うことができます。



No	項目	機能概要
1	Camera ID/location	カメラ ID およびロケーション名を表示します
2	Main preview window	メインカメラのプレビューを表示します
3	Panoramic preview window	パノラマレンズのプレビューを表示します
4	People Count	画面内の人物を自動で検出し、人数を表示します
5	Tracking	トラッキングのオン/オフを切り替えます アイコンは上から Voice Tracking/ Auto Tracking/ Auto Framing を示し、現在選択している Tracking Mode によって、オン/オフにできる項目が変わります
6	Zoom	ズームイン、ズームアウトを行います
7	Pan/Tilt	レンズを任意の方向へ移動させます ✓ 方向ボタン: レンズを上下左右に動かします ✓ ホームボタン: ホームポジションへ移動します
8	Take Turn	ボタンを押すたびに、左から右へ順番にトラッキング対象を切り替えます
9	Setting Area	トラッキングエリアやブロックエリアをパノラマプレビューに表示します
10	Gesturing	ジェスチャー機能のオン/オフを切り替えます 発言者が両手を挙げると、トラッキング対象が自動的に切り替わります 
11	Designated ID	トラッキング対象を手動で切り替える機能のオン/オフを切り替えます 対象をマウスでクリックすることで、トラッキング対象を変更できます 本機能はセンターステージモードでは使用できません
12	Tracking Mode	トラッキングモードを選択します ✓ Voice Tracking: 発話者の音声を認識して追尾します ✓ Everywhere Tracking: 特定の人物の左右・前後の動きを連続的に追従します ✓ Stage Tracking: 定義したエリア内で特定の人物を左右に追従します ✓ Partition Tracking: 特定の人物がパーティションエリアに入るとプリセット位置に切り替わり、エリア外に出ると自動追従します ✓ Center Stage: プリセットを呼び出した後、特定の人物をフレームの中央に配置するよう自動調整します ✓ Auto Framing: すべての人物を画角に収めるよう自動調整します ✓ Partition Framing: プレゼンターがパーティションエリアに入るとプリセット位置に移動し、エリア外に出るとオートフレーミングを行います
13	Sensitivity	トラッキングの感度を調整します
14	Tracking Speed	トラッキングの追従速度を調整します
15	Target Lost Time	トラッキング対象を見失った後、次の動作を行うまでの遅延時間を設定します
16	Target Lost Action	トラッキング対象を見失った際のカメラの動作を設定します
17	Motionless Switch	モーションレススイッチのオン/オフを切り替えます PTZ 動作中カメラは一時的にパノラマビューに切り替わり、完了後にメインビューに戻ります ※この機能は、Voice Tracking モードでのみ利用可能です
18	Multi Voice Framing	マルチボイスフレーミングのオン/オフを切り替えます 会議室内で複数人が同時に発言すると、発言者全員がフレーム内に収めるよう画角を調整します ※この機能は、Voice Tracking モードでのみ利用可能です
19	ギアアイコン	各トラッキングモードの設定画へ移行します 詳細は 5.2.5 トラッキングモード設定画面 で解説します
20	Auto-trigger Zone	オートトリガーゾーンのオン/オフを切り替えます

		オンにすると、人物が指定した領域に入るか、またはその領域内にとどまると、トラッキングを開始します オートトラッキング、またはオートフレーミングがオンの時、オートトリガーゾーンは無効になります ✓ 編集ボタン: クリックすると、パノラマプレビュー内にゾーンを作成できます。消去するにはゾーンを選択した状態でキーボードのエスケープキーを押します ✓ セーブボタン: クリックすると、作成したゾーンを保存します ※この機能は、Everywhere Tracking/ Stage Tracking/ Partition Tracking/ Auto Framing/ Partition Framing モードで利用可能です
21	Head Position	画面内での人物の頭部の位置を調整できます ※この機能は、Center Stage モード時でのみ利用可能です

5.2.5 トラッキングモード設定画面

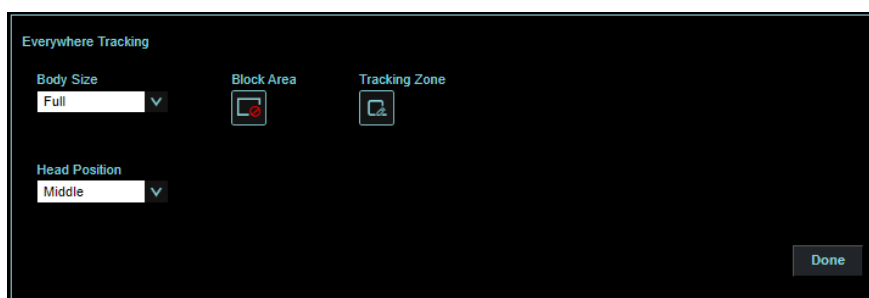
トラッキング画面でギアアイコンをクリックすると、トラッキングモード設定画面へ移行します。選択したトラッキングモードにより、設定画面の内容が異なります。

Voice Tracking



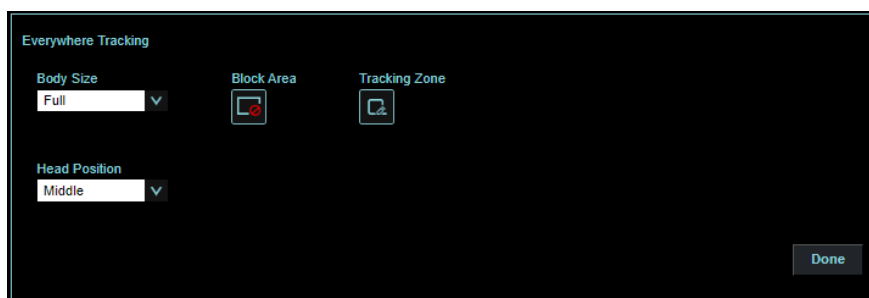
No	項目	機能概要
1	Body Size	トラッキング対象の表示範囲を選択できます ✓ Full: 全身を表示します ✓ Body: 上半身を表示します
2	Head Position	画面内での人物の頭部の位置を調整できます
3	Block Area	指定したエリア内ではトラッキングを無効にできます クリックして編集モードを有効にし、パノラマプレビュー内にゾーンを作成します。ブロックエリア内に対象者が入ると、カメラはその人物を追跡しません
4	Framing Size	フレーミングの対象となる画角を調整します ✓ Tight: 画角を狭く表示し、人物に寄った映像になります ✓ Midium: Tight と Wide の中間の画角で表示します ✓ Wide: 画角を広く表示し、人物全体から引いた映像になります
6	Multi-Voice Framing Time	複数の話者を検知した際に Multi Voice Framing モードへ移行し、その状態を維持する時間を設定します
7	Single Voice Trigger Time	Multi Voice Framing モード中に、単一の話者のみを一定時間以上検知した場合に、自動的に Multi Voice Framing モードを解除するまでの時間を設定します

Everywhere Tracking



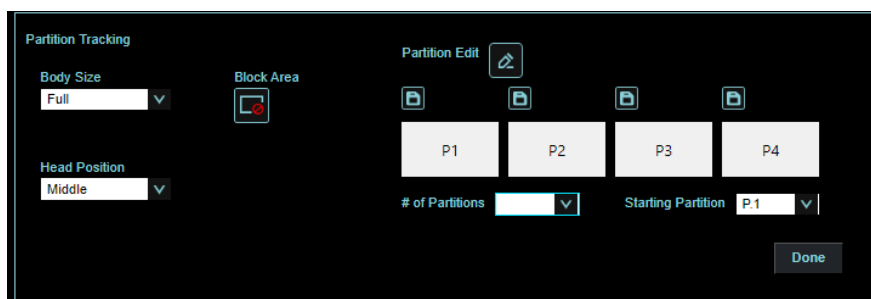
No	項目	機能概要
1	Body Size	トラッキング対象の表示範囲を選択できます ✓ Full: 全身を表示します ✓ Body: 上半身を表示します
2	Head Position	画面内での人物の頭部の位置を調整できます
3	Block Area	指定したエリア内ではトラッキングを無効にできます クリックして編集モードを有効にし、パノラマプレビュー内にゾーンを作成します。ブロックエリア内に対象者が入ると、カメラはその人物を追跡しません
4	Tracking Zone	トラッキングを行う範囲を指定できます クリックして編集モードを有効にし、パノラマプレビュー内にゾーンを作成します。指定したエリア内でのみトラッキングを実施できます。

Stage Tracking



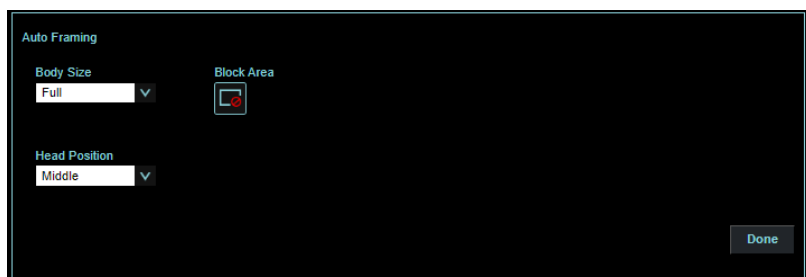
No	項目	機能概要
1	Body Size	トラッキング対象の表示範囲を選択できます ✓ Full: 全身を表示します ✓ Upper: 上半身を表示します
2	Head Position	画面内での人物の頭部の位置を調整できます
3	Block Area	指定したエリア内ではトラッキングを無効にできます クリックして編集モードを有効にし、パノラマプレビュー内にゾーンを作成します。ブロックエリア内に対象者が入ると、カメラはその人物を追跡しません
4	Stage Zone	トラッキングを行う範囲をステージエリアとして指定できます クリックして編集モードを有効にし、パノラマプレビュー内にゾーンを作成します。指定したエリア内でのみトラッキングを実施できます。

Partition Tracking



No	項目	機能概要
1	Body Size	トラッキング対象の表示範囲を選択できます ✓ Full: 全身を表示します ✓ Upper: 上半身を表示します
2	Head Position	画面内での人物の頭部の位置を調整できます
3	Block Area	指定したエリア内ではトラッキングを無効にできます クリックして編集モードを有効にし、パノラマプレビュー内にゾーンを作成します。ブロックエリア内に対象者が入ると、カメラはその人物を追跡しません
4	Partition Edit	クリックして編集モードを有効にし、パノラマプレビュー内にパーティションを作成、保存します プレゼンターがパーティションエリアに入るとプリセット位置に移動し、エリア外に出るとオートフレーミングを行います
5	# of Partitions	設定・保存されたパーティションを表示します
6	Starting Partition	初期位置として適用するパーティションを設定します

Auto Framing



No	項目	機能概要
1	Body Size	トラッキング対象の表示範囲を選択できます ✓ Full: 全身を表示します ✓ Upper: 上半身を表示します
2	Head Position	画面内での人物の頭部の位置を調整できます
3	Block Area	指定したエリア内ではトラッキングを無効にできます クリックして編集モードを有効にし、パノラマプレビュー内にゾーンを作成します。ブロックエリア内に対象者が入ると、カメラはその人物を追跡しません
4	Framing Size	フレーミングの対象となる画角を調整します ✓ Tight: 画角を狭く表示し、人物に寄った映像になります ✓ Midium: Tight と Wide の中間の画角で表示します ✓ Wide: 画角を広く表示し、人物全体から引いた映像になります

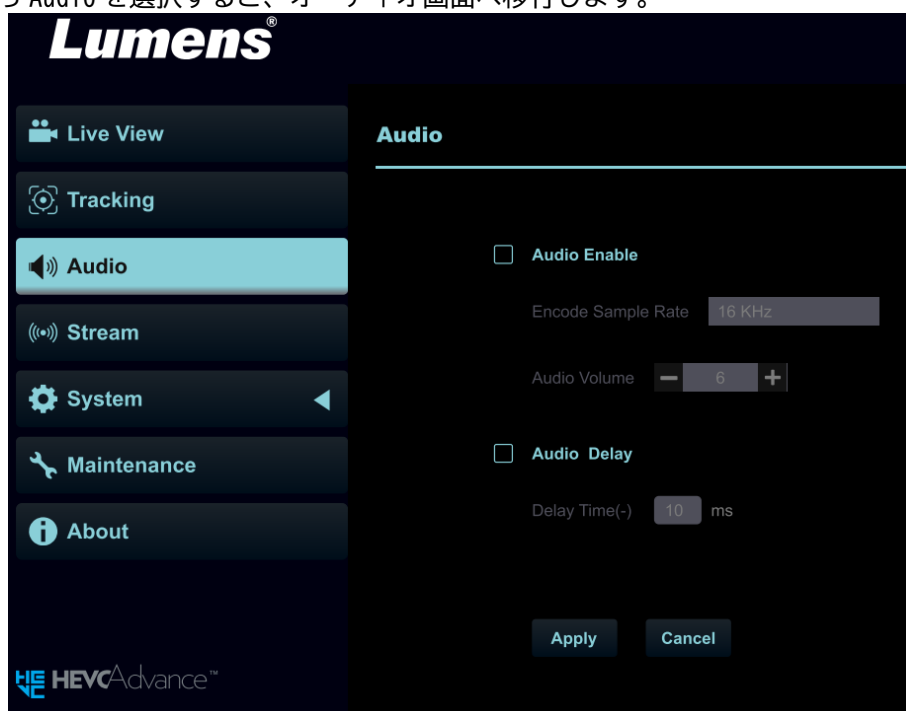
Partition Framing



No	項目	機能概要
1	Partition Edit	クリックして編集モードを有効にし、パノラマプレビュー内にパーティションを作成、保存します ただし、パーティション内ではトラッキングを行わず、パーティション外のエリアでのみトラッキングを実施します 対象者がパーティション内に入ると、カメラがそのパーティションに切り替わります
2	# of Partitions	設定・保存されたパーティションを表示します

5.2.6 オーディオ画面

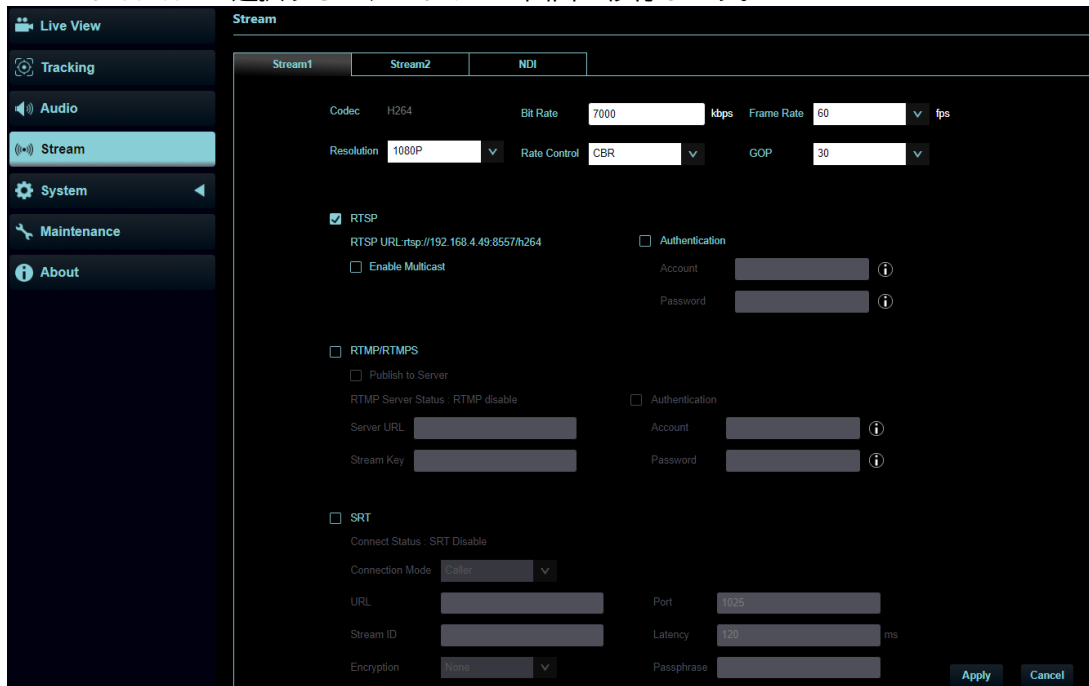
サイドメニューから Audio を選択すると、オーディオ画面へ移行します。



No	項目	機能概要
1	Audio Enable	オーディオ機能のオン/オフを切り替えます ✓ Audio In: ライン入力に固定されており、変更できません ✓ Encode sample rate: 48KHz(AAC)に固定されており、変更できません ✓ Volume: オーディオの音量を調整します
2	Audio Delay	チェックボックスをオンにして、オーディオ遅延時間を設定します(10～500ms)
3	UAC Enable	チェックボックスをオンにすると、USB 接続した PC からカメラがオーディオ録音デバイスとして認識されます
4	Apply/Cancel	オーディオ設定を適用またはキャンセルします

5.2.7 ストリーム画面

サイドメニューから Stream を選択すると、ストリーム画面へ移行します。



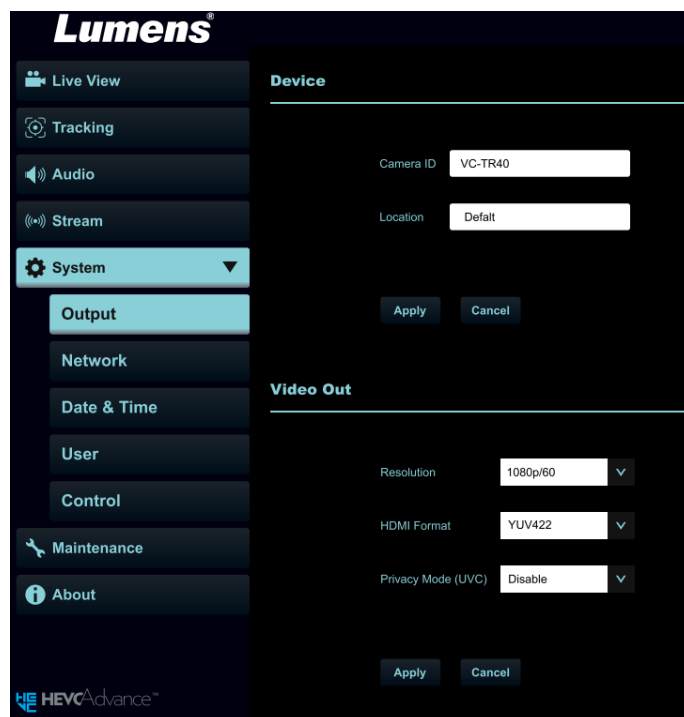
No	項目	機能概要
1	Stream 1/ Stream 2	本機は、2way ストリーミング出力に対応しており、設定するストリーミング出力を選択できます
2	Streaming parameter setting	以下のパラメーターを設定します： ✓ Codec: エンコードコーデックは H.264 に固定されており、変更できません ✓ Resolution: Stream1 は 4K/ 1080p/ 720p から選択でき、Stream2 は 720p に固定されています 4K を選択するには、Video Out Resolution を 2160p/30 にし、USB 4K Mode を Off に設定する必要があります 詳しくは 5.2.8 システム画面 の Output の項目を参照ください ✓ Bit Rate: ビットレートを 2,000～20,000 の間で設定します ✓ Rate Control: 固定ビットレート (CBR) または可変ビットレート (VBR) から選択します ✓ Frame Rate: Stream1 は 60(4K の場合は選択不可) または 30 から選択でき、Stream2 は 30 固定されています ✓ GOP: GOP(Group Of Pictures) を 60(Stream1 で 1080p/ 720p 選択時のみ)、30, 15, 10 から選択できます
3	RTSP	RTSP (Real-Time Streaming Protocol) を使用して、ネットワーク経由でカメラの映像を配信するための設定を行います ✓ RTSP: RTSP を有効にするには選択します ✓ Enable Multicast: マルチキャストを有効にするにはチェックを入れます 同時にカメラ映像を 4 台以上に配信する場合、マルチキャストの有効化を推奨します ✓ Authentication: パスワード認証の有効または無効を選択します ・ アカウント名は 5～16 文字で、ローマ字または数字が使用できます ・ パスワードは 8～64 文字で、ローマ字と数字の両方を 1 文字以上含める必要があります
4	RTMP/ RTMPS	RTMP(Real-Time Messaging Protocol)を使用して、カメラの映像をライブ配信プラットフォームに送信するための設定を行います

No	項目	機能概要
		✓ RTMP/RTMPS: RTMP/RTMPS を有効にするにはチェックを入れます ✓ Publish to Server: 配信先サーバーに映像を送信する機能を有効化します ✓ Server URL: 配信先のサービスが提供する RTMP サーバーの URL を入力します ✓ Stream Key: 配信先で発行されたストリームキーを入力します ✓ Authentication: パスワード認証の有効または無効を選択します ・ アカウント名は 5～16 文字で、ローマ字または数字が使用できます ・ パスワードは 8～64 文字で、ローマ字と数字の両方を 1 文字以上含める必要があります
5	SRT	SRT (Secure Reliable Transport) は、低遅延かつ高信頼性のストリーミングを実現するためのプロトコルです。SRT を有効にすると、起動時に自動的に接続されます。 ✓ SRT: SRT ストリーミングを有効にするにはチェックを入れます ✓ Connection Mode: Caller (接続元) または Listener (待機) を選択します ✓ URL: ストリーミング先の URL を入力します ✓ Stream ID: ストリーム ID を入力します ✓ Encryption: 暗号化方式を None (なし)、AES-128、AES-256 から選択します ✓ Passphrase: 暗号化を選択した場合、パスフレーズを入力します ✓ Port: ポート番号は 1024 以上、9999 以下の範囲で設定します 以下のポート番号はカメラが使用するため、設定しないでください: 8554, 8555, 8557, 8080, 9090, 1935。 ✓ Latency: 遅延時間を 20～8000 マイクロ秒の範囲で設定できます

5.2.8 システム画面

システム画面は、Output, Network, Date & Time, User, Control から構成されます。
各項目について解説します

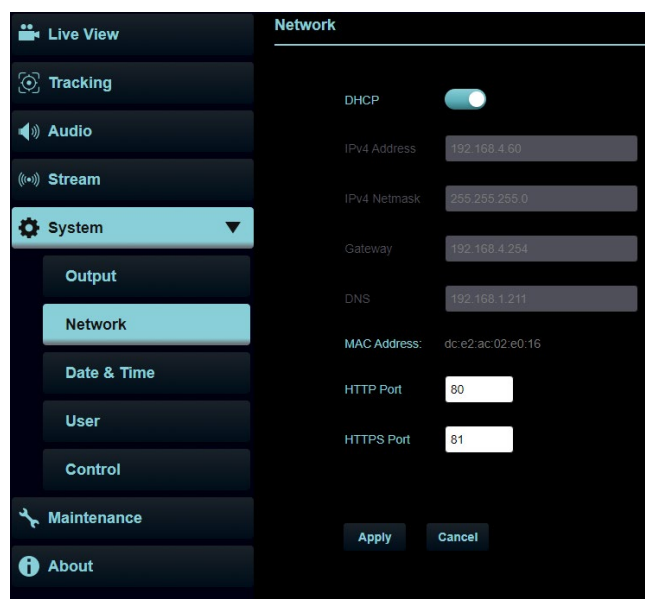
Output



No	項目	機能概要
1	Camera ID	カメラの名前を変更できます カメラ名は1～32文字で設定可能です 英大文字・小文字および数字を使用してください 特殊記号（「/」や空白など）は使用できません この項目を変更すると、Onvifのデバイス名も同時に変更されます
2	Location	カメラのLocation名を変更できます（例：Room 1） Location名は1～32文字で設定可能です 英大文字・小文字および数字を使用してください 特殊記号（「/」や空白など）は使用できません。 この項目を変更すると、OnvifのLocation名も同時に変更されます
3	Resolution	カメラのHDMI出力解像度を設定します。 解像度を変更するとカメラが再起動します カメラ起動後はブラウザを更新してください ※4K解像度を選択する場合、以下の制限があることに注意してください ✓ HDMI出力が2160p 50/60の場合： Stream1とUVCは同時に出力できません どちらか一方をOutput Modeから選択して出力してください 選択したStream1またはUVCの出力解像度は、最大1080p60となります ✓ HDMI出力が2160p 30の場合： Stream1とUVCは同時に出力可能です ただし、Stream1またはUVCのどちらか一方を2160pで出力する場合、もう一方の出力は1080p解像度に制限されます
4	HDMI format	HDMI出力のフォーマットをYUV444/ RGB/ YUV422から選択します
5	Privacy Mode (UVC)	プライバシーモードを有効または無効にします プライバシーモードが有効な場合、リモコンまたはソフトウェアでカメラをオフにすると、レンズが自動的に右下に向き、ユーザーのプライバシーが守られます
	Output Mode	出力の組み合わせをHDMI+Stream または HDMI+UVCから選択します この設定はHDMI出力解像度2160p 50/60を選択している時のみ有効です

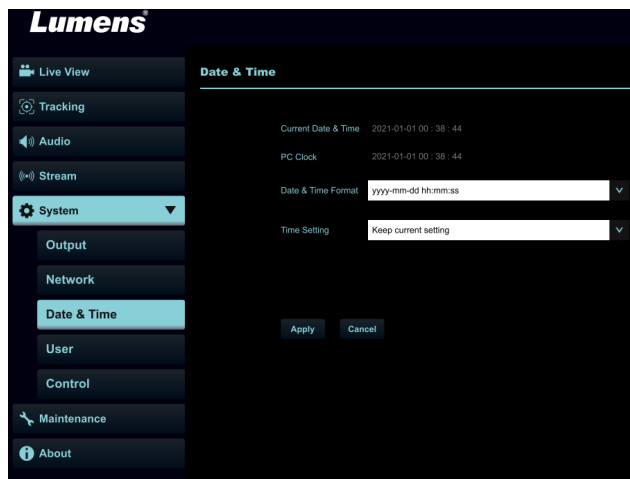
	USB 4K Mode	UVC(USB)出力における 2160p 25/30 解像度のオン/オフを切り替えます この設定は HDMI 出力解像度が 2160p 25/30 を選択している時のみ有効です
	PIP	PIP 機能のオン/オフを切り替えます PIP 機能が利用可能な出力解像度： HDMI：2160p 30/25、1080p 60/50/30/25 UVC (USB)：1080p 60/50/30/25 ※ Stream 出力と、上記以外の解像度では PIP 機能は利用できません
	Apply/Cancel	設定を適用するか、キャンセルするかを選択します

Network



No	項目	機能概要
1	DHCP	カメラのネットワーク設定を行います。 DHCP 機能が無効の場合、ネットワーク設定を変更できます
2	HTTP port number	HTTP 通信に使用するポートを設定します デフォルトのポート番号は 80 です
3	HTTPS port number	HTTPS 通信に使用するポートを設定します デフォルトのポート番号は 81 です
4	Apply/Cancel	設定を適用するか、キャンセルするかを選択します

Date & Time



No	項目	機能概要
1	Current Date & Time	カメラの現在の時刻を表示します
2	PC Clock	PC の現在の時刻を表示します
3	Date & Time Format	時刻の表示形式を選択します
4	Time Setting	時刻合わせの方法を選択します ✓ Synchronize with PC: PC の時刻と同期します ✓ Manual Setting: 手動で時刻を設定します Synchronize with NTP: NTP サーバーの時刻と同期します

User



機能概要

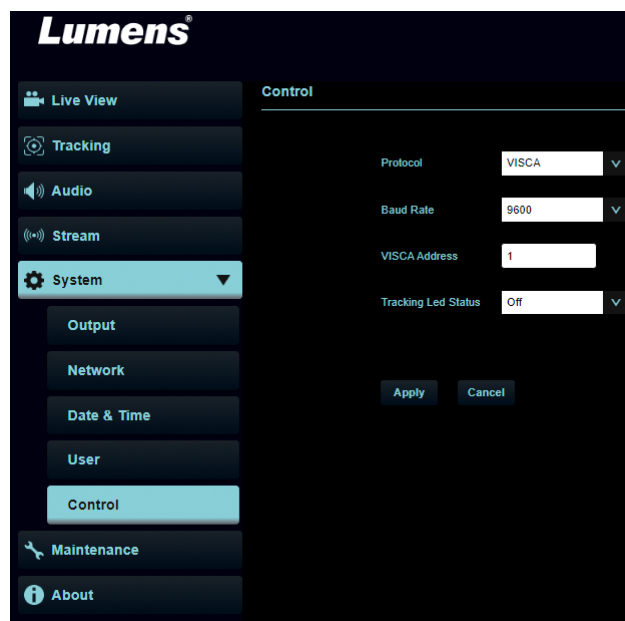
ユーザーアカウントの追加・変更・削除を行います
 ユーザー名およびパスワード は4～32文字で設定できます
 英大文字・小文字および数字を組み合わせ请使用してください。特殊記号およびアンダーバーは使用できません

Authorization mode では、管理権限を設定できます

ユーザータイプと権限

ユーザータイプ	映像の閲覧	設定の変更	アカウント管理
管理者 (Admin)	○	○	○
オペレーター (Operator)	○	○	×
ビューアー (Viewer)	○	×	×

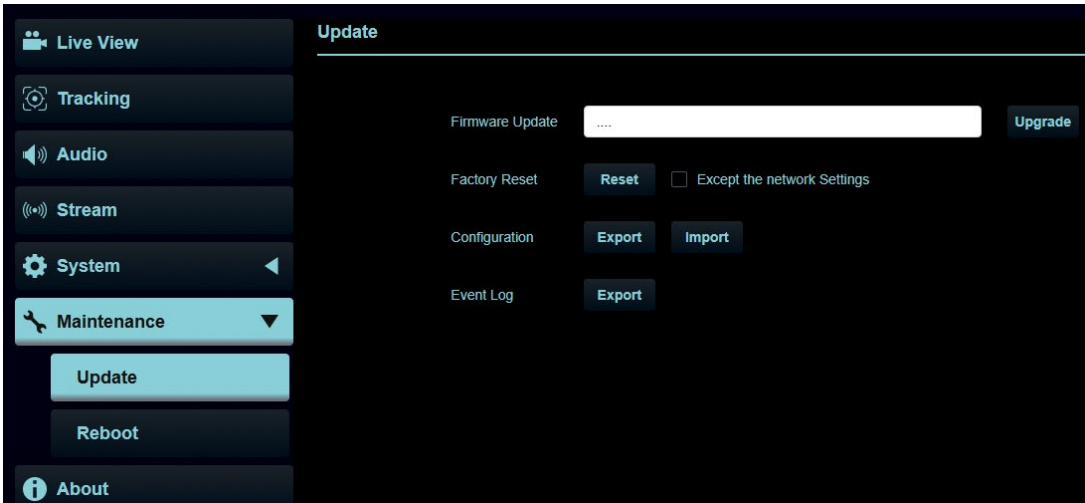
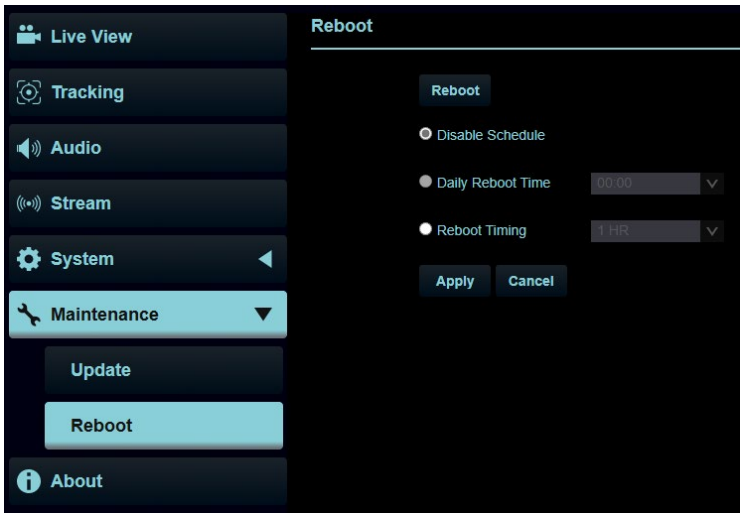
Control



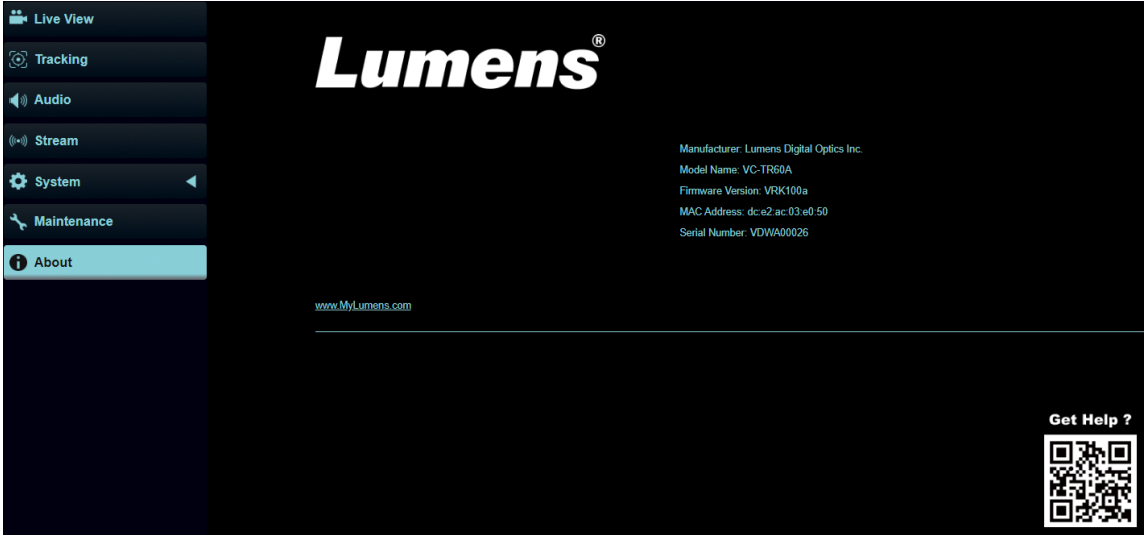
No	項目	機能概要
1	Protocol	VISCA プロトコルに固定されており、変更できません
2	Baud Rate	ボーレートを 9600、または 38400 から選択できます
3	VISCA address	カメラの ID アドレスを 1~7 の範囲で設定できます 0 を選択すると自動制御モードになります
4	Tracking LED status	トラッキングが開始された際に、前面パネルの LED の点滅を有効または無効に設定できます
5	Tally Lamp	メインレンズ上部のタリーランプのオン/オフを切り替えます 本設定は、「USB Stream Status」と排他的な設定です
6	Tally CMMD Mode	タリーランプがオフの時のコマンド処理方法を指定します ✓ Normal: タリーランプのオン/オフと点灯色は個別に制御します タリーランプが消灯中に色指定コマンドを送信しても点灯しないため、先にタリーランプをオンにするコマンドを送信する必要があります ✓ Link: タリーランプのオン/オフと点灯色は連動して制御します タリーランプが消灯中に色指定コマンドを送信すると、自動的にタリーランプがオンになり、指定された色で点灯します
7	USB Stream Status	USB ストリームが有効のとき、タリーランプを光らせる機能のオン/オフを切り替えます 本設定は、「Tally Lamp」と排他的な設定です
8	Apply/Cancel	設定を適用するか、キャンセルするかを選択します

5.2.9 メンテナンス画面

メンテナンス画面は、Update、Reboot の項目で構成されます。

		
		
No	項目	機能概要
1	Firmware Upgrade	ファームウェアファイルを選択し、Upgrade をクリックして更新を実行します。更新には約 2～3 分かかります 更新中はデバイスの操作や電源オフを行わないでください。更新に失敗する可能性があります ファームウェアファイルは、Lumens Web サイトのダウンロードページよりダウンロードしてください
2	Factory Reset	設定を工場出荷時の状態にリセットします Except the network Settings にチェックを入れると、ネットワーク設定はリセットされません
3	Configuration	設定パラメーターを プロファイルとして保存し、ダウンロードまたはアップロードすることで、カメラの設定をバックアップ・復元できます
4	Event Log	イベントログをエクスポートします
5	Reboot	Reboot ボタンを押して、デバイスの再起動を行います 再起動スケジュールについて、以下のオプションがあります ✓ Disable Schedule: スケジュールを無効にします ✓ Daily Reboot Time: 設定した時刻に自動的に再起動を実行します (NTP が有効になっている場合のみ設定可能) ✓ Reboot Timing: 指定した時間(1～24h)ごとに再起動を実行します 本設定はスケジュールを無効にするまで有効です

5.2.10 About 画面


機能概要
カメラのファームウェアバージョン、シリアル番号、その他の関連情報を表示します

Chapter 6 トラブルシューティング

この章では、VC-TR60A の使用中に発生する可能性のある問題とその解決策を説明します。関連する章を参照し、推奨される解決策に従ってください。問題が解決しない場合は、販売店にお問い合わせください。

No.	問題	解決策
1.	カメラが起動しない	1. 電源コードが正しく接続されているか確認してください 2. PoE 接続を使用している場合、PoE+ (IEEE802.3 at) 対応の電源供給ハブを使用していることを確認してください
2.	カメラから映像が出力されない	1. 電源供給または PoE 供給が正常か確認してください 2. 出力信号がストリーミング出力に設定されているか確認してください 3. カメラの解像度がモニターと互換性があるか確認してください 4. ケーブルを交換して、故障していないか確認してください
3.	カメラ映像に大きな遅延が発生する	25/30fps の信号ではなく、1080p または 720p 60/50fps で使用してください
4.	RS-232 で制御ができない	1. 3.6 RS232 を参照し、接続が正しいか確認してください (RS-232 In/Out) 2. ボーレート設定が制御機器と一致しているか確認してください
5.	ネットワーク経由で設定、映像確認ができない	ネットワークに関する詳細は、 Chapter5 ネットワーク接続 を参照してください
6.	ONVIF ソフトウェアが本機を検出できない	5.2.7 システム画面 を参照し、Camera ID と Location が英数字のみであることを確認してください。特殊文字やスペースを使用すると、ONVIF ソフトウェアが本機を見つけることができません
7.	再起動後、カメラが設定を保存しない (PTZ、AWB など)	Initial Position が Last MEM に設定されているか確認してください
8.	アカウントのパスワードを忘れてポータルにログインできない	Lumens の代理店またはサービスセンターにお問い合わせください。

Chapter 7 安全上のご注意

VC-TR60A を使用する際の安全に関する指示

操作

- ✓ 水や熱源を避け、推奨される使用環境で製品を使用してください。
- ✓ 製品を傾けたり、不安定な台車、スタンド、テーブルの上に置かないでください。
- ✓ 使用前に電源プラグのほこりを掃除してください。火花や火災を防ぐため、マルチプラグは使用しないでください。
- ✓ 製品ケースのスロットや開口部を塞がないでください。これらは通気を確保し、製品の過熱を防ぎます。
- ✓ カバーを開けたり外したりしないでください。危険な電圧やその他の危険にさらされる可能性があります。すべての修理は、専門技術を持つサービス担当者に依頼してください。
- ✓ 次のような場合は、製品をコンセントから抜き、サービス担当者に修理を依頼してください：
USB ポートが破損または摩耗した場合
製品に液体がこぼれた場合、または製品が雨や水にさらされた場合

設置

- ✓ 使用する金具が安全認証を取得しており、かつ専門技術を持つ技術者によって確実に取り付けられていることを確認してください。
- ✓ リードやプラグがほつれたり損傷したりする原因となるため、コードを踏む可能性のある場所に製品を置かないでください。
- ✓ 雷雨の時や計画停電時、長期間使用しない場合は、本製品のプラグを抜いてください。
- ✓ 本製品や付属品を振動する機器や発熱体の上に置かないでください。

クリーニング

- ✓ クリーニング前にすべてのケーブルを外し、乾いた布で表面を拭いてください。クリーニングにはアルコールや揮発性の溶剤を使用しないでください。

バッテリー（バッテリー付き製品またはアクセサリーの場合）

- ✓ 電池を交換する際は、同じ種類または類似の電池のみを使用してください。
- ✓ バッテリーや製品を廃棄する際は、お住まいの国または地域の廃棄に関する指示に従ってください。

■ 注意事項

	この記号は、この機器に感電の原因となる危険な電圧が含まれている可能性があることを示しています。カバー（または背面）を取り外さないでください。内部に修理可能な部品はありません。専門技術を持つサービス担当者に修理を依頼してください。		この記号は、本機の取扱説明書に重要な操作および保守の指示が記載されていることを示します。
---	--	--	--

FCC Warning

本装置は、FCC 規則パート 15 に基づくクラス A デジタルデバイスの制限に準拠していることがテストにより確認されています。これらの制限は、商用環境で使用される場合に有害な干渉から適切に保護されることを目的としています。

通知：

本機は、FCC 規則パート 15 に基づくクラス A デジタル機器の制限に適合しています。本装置は、商用環境で 사용되는場合に、有害な干渉を防ぐために適切に設計されています。

IC Warning

本デジタル機器は、カナダ産業省の ICES-003「デジタル機器」に基づく無線ノイズ放射のクラス A 制限を超えません。このデジタル機器は、カナダ産業省の規定に従い、適切な基準で動作します。

EN55032 CE Warning

本装置は、住宅環境で使用するすると電波障害を引き起こす可能性があります。この装置を住宅環境で使用する場合、電波干渉に関して注意が必要です。

Copyright Information

Copyrights © Lumens Digital Optics Inc. All rights reserved.

Lumens は、Lumens Digital Optics Inc. が現在登録中の商標です。

本ファイルのコピー、複製、送信は、本製品購入後のバックアップを目的とする場合を除き、ルーメンズ・デジタル・オプティクス・インコーポレーテッドからライセンスを受けていない場合、禁止されています。

本ファイルは、製品改良のため予告なく変更することがあります。

本書は、本製品の使用方法を十分に説明するために、他の製品名や会社名を引用することがありますが、著作権を侵害するものではありません。

保証の免責事項 Lumens Digital Optics Inc. は、技術的、編集上の誤りや脱落の可能性、および本ファイルの提供、本製品の使用または操作に起因する偶発的または関連する損害について責任を負いません。

AUDIO))) BRAINS

〒216-0033 神奈川県川崎市宮前区宮崎 649-3

TEL : 044-888-6761

<https://audiobrains.com/>

2025/03